

第 1 回	介護・医療連携推進会議 議事録
-------	-----------------

開催日時	平成28年4月19日(火)	16:00～17:15
開催場所	加野クリニック 211会議室	

書記 豊資会定期巡回訪問介護ステーション 管理者 藤谷

出席者	古賀市 介護支援課 介護保険係 地域医療法人 利用者家族 地域住民 地域住民 医療法人豊資会 社会福祉法人豊資会 豊資会 地域連携室 訪問看護ステーションやまびこ 訪問看護ステーションやまびこ 豊資会定期巡回訪問介護ステーション 豊資会定期巡回訪問介護ステーション	担当者様 院長様 A様 B様 C様 理事長 理事長 相談員 管理者 副主任 管理者 副主任
-----	---	--

1、開会の挨拶 社会福祉法人豊資会 理事長

2、出席者自己紹介

3、サービス実施状況報告 豊資会定期巡回訪問介護ステーション 管理者

- ①2月3月の利用者数(男女別、介護度別、年齢別、世帯構成別)
- ②2月3月の時間帯別訪問回数(定期)
- ③2月3月の時間帯別緊急コール回数
- ④介護度別訪問状況

- ・月の利用者数が市への報告と違うのは？  
→市への報告は月途中の終了者を含まない月末時点での登録者数のため。
- ・定期巡回の依頼の打診は無かったのか  
→3件あった。  
    いずれも利用にはいたっていない

4、定期巡回・随時対応型訪問介護看護について

- パワーポイントで本事業の特徴を説明する
- ・サービスの特徴
- ・4つの機能・2つの類型                      ・介護報酬
- ・併用できないサービス                      ・看護職員の役割
- ・訪問頻度や時間について
- ・本サービスをお勧めしたい人

## 5、討論

- ・医療の立場から、普段見ている人からの情報は大切。  
メモ書きでもいいから変化がわかる知らせがほしい。
- 定期巡回では、記録の電子化を始めた、訪問時の記録がパソコンに取り込まれるようにしている。この仕組みを利用して、医療と介護の情報共有の仕組みが作れなかつ模索中。  
現在は利用者宅に連絡ノートを置いて対応している。
- ・利用者の緊急時の連絡先などは把握されているか
- 利用者ごとに緊急連絡先を把握して、オペレーションシステムと紙の両方で運用中
- ・医療と介護は連携から融合へ、がこれからのテーマである。そのための情報共有の仕組みを作りあげていかなければならない。
- ・医療保険での訪問看護と定期巡回の組み合わせでの支援は利用者にとっても事業所にとってもメリットがある。ただし、特定の病気等でないと医療保険での訪問看護は使えない。
- ・このサービスを使うことで、長期ショートステイを使っていた夫が自宅に帰ることが出来た。ちょうどよいタイミングで新しいサービスが始まり喜んでいる。
- ・本事業の地域への周知は行っているのか
- 3月号の古賀市広報に掲載。ケアマネ向けには6月に第二回の説明会を開く予定  
病院の地域連携室への営業も検討している。
- ・地域の支援が必要な人の情報をどう拾い上げるか？
- 地域の情報は民生委員さんが持っている。地域との連携、ネットワーク作りが大切
- ・高齢者も子供も地域で支える仕組みが必要、地域の心ある人のネットワークつくりが出来ないか
- ・古賀市で総合事業が始まった、どのように変わったのか分かりづらい。
- 通所と訪問だけを希望している人にとって、認定調査を受けなくて、基本チェックリストの聞き取りで事業対象者かどうかの判定が出来るので、スピーディにサービスが使えるようになっている。

## 6、次回日程

7月 第一火曜日(7月5日)16:00~